

ヤマセミ（カワセミ科） 全長38センチ

今年は早春から、雄物川でヤマセミの姿と営巣地を探し続けてきたがなかなか見つからなかった。

5月に入ると、野鳥仲間から一昨年の営巣地から上流約600mの左岸で見つかったと情報が入った。水面から土の崖が2～3メートルほど垂直に切り立った場所に巣穴がある。200mも離れた対岸からでないと、絶対に分からない営巣地であった。



流木につがいが並んだ。

巣穴近くの流木にオスが陣取り、メスを待っているようだ。

暫くすると、巣穴からメスが飛び出してきた。透かさず、交代するかのようにオスが巣穴に入った。

巣穴の掘削工事は終わったのか、それとも抱卵中なのかは今後の様子を見ないと判断できません。今年もここで子育てしてくれるか、期待が膨らみます。



巣穴をじっと眺める。



巣穴から出てきた。

溪流などの山深い奥地に生息するイメージが強いヤマセミが、大曲市街地に近い雄物川で生息している事実。このことは稀なことであり、周辺環境の保全と自然保護の大切さを実感させるものでした。



交代するように巣穴に入った。



水面すれすれを飛ぶ姿は美しい。